

学生相談室だより

2012年第1号（通算第27号）2012年5月 発行：京都橘大学 学生相談室

今年は春の訪れが遅く、その分、桜が長持ちしました。この春、学生相談室もささやかなりリニューアルをしました。これまで2人だったカウンセラーが4人になり、面接室も3つになりました。誰に話したらよいのか迷うようなときには、ハード面、ソフト面で以前より充実した学生相談室に、どうぞ遠慮なくいらしてください。お待ちしております。

さて、今年も学生相談室を知っていただくために年に2回の「学生相談室だより」を発行していきたいと思えます。「学生相談室だより」は、前期と後期に1回ずつ発行され、大学ホームページにも掲載されます。第1号は、学生相談室の4人のカウンセラーの自己紹介号です。

青木 剛

火曜日と金曜日を担当する青木です。4名のカウンセラーの中で、唯一の男性カウンセラーです。カウンセラーとして働いて数年経ちますが、大学を歩いていると、部活やサークルの勧誘にあったこともありました。ここ1、2年は、そんなことがなくなって、ようやく自分にも大人な雰囲気が出てきたのかなあと嬉しく思う一方で、少し寂しくも思うものです。そんなことを思いながら、今の自分を改めて顧みると、大学生時代に培った(?)ものも多くあります。今回は自己紹介ということで、そのうちの一つを紹介したいと思います。

「荷物が多い!」: 年々、鞆が大きくなっていき、今では毎日5kg程ある鞆を持って歩いています。これも、大学時代に気づいて、敢えてそうしているところです。私は物忘れが激しいのです。大学時代は、3、4個の鞆の中から1つをその日の気分や用途に分けて使っていたのですが、鞆を変えるごとに忘れ物をする。とにかく、忘れてしまうんです。忘れないように、あれこれ工夫しました。ホワイトボードを用意して書き込むようにしたり、朝出る前に必ず確認を試みたり…そうするうちに、気が付きました。自分はいくら確認をしても、忘れてしまうものなのだと。忘れっぽい自分が確認をしても、確認が荒い! 確認事項ですら、忘れて抜けてしまう…いくら気を付けても忘れてしまうんです。そうして、逡巡を経て、忘れないようにすることをやめました。ただ、忘れものをして困ることもあるので、そのことに対処しようとしたところ、「もう、全部を鞆に入れよう」、「全部が入る鞆を買おう」ということを思いつき、それ以来、鞆は1つ、いつも旅行に行くほどの大きなものを持ち歩いています。

初めは、忘れっぽい自分をどうにかしたくて試行錯誤していましたが、その

うち、自分の忘れっぽさを引き受けざるを得ませんでした。そして、忘れっぽい自分が忘れ物で困らないために、全てが入る鞆を持つことに至ったわけです。

人は、それぞれいろんな特徴があります。悩みもさまざまです。悩みが開けていくとき、その人らしさが発揮されると言われることもあります。不恰好ながら大きな鞆を持って、肩こりと付き合いながら、えっちらおっちらしているさまが、私らしくもあるように、最近思いました。

河井直美

月火金曜日を担当する河井です。この大学の学生相談室には11年目になりました。10年前に来た時は女子大でしたが、共学になってからの方が交友関係でのグループの話をよく聞く気がするのには不思議です。その理由は想像するに・・・は、さておき、「女子における一緒にトイレ行こう症候群」は、昔からありました。私は本来“一人でトイレ行く派”のようです。中学生の時、休み時間に一人でトイレに行き、戻る時に仲のいい友だち二人と鉢合わせし、「え～来てたの？なんで一人で来るんよ～、言ってよ～淋しいやん」と言われ、なんで淋しいねん！と思いました。が、翌年には別の友だちに引っ張られ、自分しなくても必ずトイレに付いていくことになりました。高校の友だちは、「行く？」「行かない」「じゃ、行ってくるわ」でスムーズに。しかし、大学ではすっかりグループ化した中に組み込まれ、再びお誘いが。ある時、一緒に行かないことをなじられ、「なんでしないのに一緒に付いて行かなきゃいけないのよ、トイレ行っても中に一緒に入るわけじゃなし、中まで一緒に入って見てほしいのん？！」と言うと、「まったく、かわいくないわ！」と諦められました。

3歳頃、一つ違いの従兄弟の男の子と外で連れションを初めてしました。立ってする従兄弟に誘われて、一緒に立ってやってみたらえらいことになり、後で大人にこっぴどく怒られました。でも、その連れションエピソードは私の大切な思い出の1ページです。その従兄弟は、一昨年癌で亡くなりました。一緒におしっこに行けていたらもっと生きていられたかもしれないのに・・・と何の根拠もなく思ったりします。別に行きたくもないのに一緒にトイレに行くのはしんどい話、気の合う友だちと一緒にトイレにも行く仲になって話すのは楽しいこともある。おばあちゃんになっても「ちょっとご不浄へ」「ご一緒に」「ご一緒に」という友がいてもいいかなと、一人派だけだと思います。

北尾敬子

水曜日を担当する北尾敬子です。1995年にこの大学に学生相談室ができた時からカウンセラーをしています。今年は2012年なので、大学の学生相談室は17歳、人間にたとえれば、高校2年生くらいでしょうか。一方、はじめは大学生の親より若かった私ですが、もうすぐそれを超えようとしています。17年間の間に大学がどんどん進化し、学生相談室もそれに伴い進化してきましたが、私はどうでしょうか？その間のデジタル技術の進化にはついていけていませんが、何か少しでも進化したことが私にもあったのでしょうか。なかなか思いつかないまま一生

懸命考えてみました。そして、一つだけなんとかみつめました。

私は、現在、生活の中でおおいに音楽を楽しんでいます。10年ほど前、子供時代にならっていたピアノを再開しました。そして5年前にはアイリッシュハープを習い始めました。子供の頃はそれほどピアノの練習を楽しんでいたことはありませんでした。まして、発表会は腹痛が起きるほど緊張していやでたまりませんでした。ところが、今は発表会まで楽しみなのです。技術的なことはさておき、この私が発表会を楽しみにできるとは、これはかなりの進化です。

私に何が起こったのでしょうか？現実の自分の能力を客観的に見てそれに合わせた目標をもてるようになったことは、音楽を楽しめるようになった一因でしょう。それに加え、若い頃より自分の失敗に寛容になれたことが大きいと思います。そんなつもりはなかったけれど、私はきっと「ええかっこしい」だったのでしょう。今は「誰も、私のことなんか注目していないんだから」と自然に思えるようになり、その結果、以前より音楽を楽しめるようになりました。プロならばそれですまされないけれど、素人の私が音楽を楽しむにはそのくらいがよいようです。「ピアノ売ってちょうだい♪」のCMが流れるたびに、売り飛ばされそうだった私のおんぼろピアノも売り飛ばされずにすんで、胸をなでおろし、喜んでくれていることでしょう。どうぞよろしくお願いします。

國松典子

この4月から学生相談室に仲間入りしました國松典子です。木曜日の担当です。どうぞよろしくお願いします。

これから皆さんとどんなふうに出会ってゆくことになるのかなあと、ちょっとときどきしながら想像します。相談室に来られるときというのは、何か困ったことやしんどいことを抱えているわけだと思いますが、それも「出会い」「縁」「タイミング」「そのときだったから」というように後になっては感じられることが少なくないように思います。そんなことを考えながら思い浮かんできたことは、、、

去年の夏、我が家の縁の下で、真っ白い猫が子猫を生みました。うちの庭を横切ってゆく野良猫たちはけっこうたくさんいて、一匹一匹どんな猫か気にしたこともなかったのですが、その白猫（“しろちゃん”）とキジトラ柄の丸い顔した猫（“まるくん”）だけは、しばらく前から目に留まっていました。というのも家の中にいてふと視線を感じて窓の外を見ると“しろ”“まる”カップルが塀の上に並んでこちらをじっと見ていたり、“まるくん”単独でも、私の部屋から見える二階の屋根の上でこちらに顔向けた格好で日向ぼっこしていたり…と、何やら私の周辺には白いふわふわと丸い顔がウロウロしているなという雰囲気があったのです。そして“しろちゃん”がソワソワして様子を変だなと思ったら、うちの一角で小さな小さな赤ちゃん猫たちを育てていることが判明。猫の世界は生存が厳しいのですね（他の動物もそうなのでしょうね）…育った子猫は5匹のうち2匹だけでした。“しろちゃん”“まるくん”が根っからの野良出身なのに対し、子猫たちは人間の家の片隅で生まれ育ち、そして人間たちがちょくちょく覗きにいくのですっかり馴れて、乳離れの頃から家の中へも進出開始、子猫2匹とも今では立派な

同居メンバーとなりました。そして“しろ”“まる”カップルは相変わらず彼らのペースで私の生活の周辺を出没しています。子猫たちは、呼ぶと「にゃーん」「ミャーミャー」とそれぞれ返事をし、毎日私が帰ると駆け寄ってきてその日の出来事を話してくれ（…と私は思っているのですが）、このような存在が可愛いらしい猫の姿をして家の中にいるようになるとは一年前には想像もしていませんでした。そして不思議なことなのですが、長年、私のつらい花粉症とともに陽性反応がずっと出ていた猫アレルギー、去年の春の検査で猫アレルギーのほうだけが消えていたのです。そして間もなくして猫たち登場。…こんなことってあるのですね。

学生相談室開室曜日および開室時間

月曜日	9:00～16:15	河井先生
火曜日	9:00～16:15	河井先生・青木先生
水曜日	9:00～16:15	北尾先生
木曜日	9:00～16:15	國松先生
金曜日	9:00～16:15	河井先生・青木先生

個別面接時間

月曜日・火曜日・水曜日・木曜日・金曜日

① 9:00～9:40	⑤ 13:00～13:40
② 9:50～10:30	⑥ 13:50～14:30
③ 10:45～11:25	⑦ 14:45～15:25
④ 11:35～12:15	⑧ 15:35～16:15

★個別面接については、予約が基本となります。

「学生相談申込票」で申し込み、「約束カード」で相談日時を確認して相談を受けてください。

★電話でも予約を受け付けています。

学生相談室 075-574-4239 (9:00～16:15)

医務室 075-574-4119 (9:00～18:15)

★予約当日は、直接来室してください。カウンセラーが対応します。

★夏期および春期の長期休暇中は、原則として週3回の開設となります。

長期期間中は、学生支援課スチューデントセンター

(075-574-4114)でも受け付けております。